

2024年11月24日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第67巻第35号(通算3417号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

小さくされている人を  
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマの人々への手紙5:5)

こうたんぜん だい しゅじつれいはい  
**降誕前 第5主日礼拝**

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

ぜんそう もくとう ちよさくけんしやうめつ  
前奏(黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん へん せつ  
招きの詞 詩編 50編 1-3a節

さんび か ばん うつく だいち  
賛美歌 21-424番「美しい大地は」(©JASRAC)

せいし しょ ふくいんしよ しょう せつ  
聖書 マタイによる福音書 25章 31-46節

いの  
お祈り

さんび か しんせいさんびか ばん ちい もの にほん れんめい  
賛美歌 『新生讚美歌』335番「小さき者のひとりに」(©日本バプテスト連盟)

ちい ひと うしだ ただし ぼくし  
メッセージ「小さい人はどこにいるか」 牛田 匡 牧師

さんび か ばん わたし  
賛美歌 21-563番「ここに私はいます」(©JASRAC)

しゅ いの ばん てん ちち きやうだんさんびかかいていいんかい  
主の祈り 62番「天にいます わたしたちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

あいじしゆくふくしき うしだ ただし ぼくし  
愛児祝福式(\*) 牛田 匡 牧師

たんじやうしやくふくしき うしだ ただし ぼくし  
誕生者祝福式(\*\*) 牛田 匡 牧師

ささげもの  
献げ物(\*\*\*)

は けん ばん かみ めぐ う せつ  
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゆくふく うしだ ただし ぼくし  
祝福 牛田 匡 牧師

こうそう ばん きやうだんさんびかいいんかい  
後奏 アーメン コーラス(21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほうこく ページ さんしやう  
報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* みんなで出席された子どもたちに神様からの祝福をお祈りします。

\*\* みんなで今年度11月までにお生まれになった方をお祝いします。

\*\*\* 「献げ物(献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 詩編 50 編 1-3a 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>1</sup>神々の神、主は語りかけ

日の出る所から日の沈む所まで、地に呼びかける。

<sup>2</sup>この上なく麗<sup>うるわ</sup>しいシオンから／神は光を放たれる。

<sup>3</sup>我らの神は来られ／黙ってはおられない。

聖書 マタイによる福音書 25 章 31-46 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>31</sup>「人の子は、栄光に輝いて天使たちを皆従えて来るとき、その栄光の座に着く。

<sup>32</sup>そして、すべての国の民がその前に集められると、羊飼いが羊と山羊<sup>やぎ</sup>を分けるように、彼らをより分け、<sup>33</sup>羊を右に、山羊を左に置く。<sup>34</sup>そうして、王は右側にいる人たちに言う。『さあ、私の父に祝福された人たち、天地創造の時からあなたがたのために用意されている国を受け継ぎなさい。<sup>35</sup>あなたがたは、私が飢えていたときに食べさせ、喉<sup>のど</sup>が渴いていたときに飲ませ、よそ者であったときに宿を貸し、<sup>36</sup>裸のときに着せ、病気のときに世話をし、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。』<sup>37</sup>すると、正しい人たちが王に答える。『主よ、いつ私たちは、飢えておられるのを見て食べ物を差し上げ、喉が渴いておられるのを見て飲み物を差し上げたのでしょうか。<sup>38</sup>いつ、見知らぬ方であられるのを見てお宿を貸し、裸でおられるのを見てお着せしたのでしょうか。<sup>39</sup>いつ、病気をなさったり、牢におられたりするのを見て、お訪ねしたのでしょうか。』<sup>40</sup>そこで、王は答える。『よく言っておく。<sup>a</sup>この最も小さな者の一人にしたのは、すなわち、私にしたのである。』

<sup>41</sup>それから、王は左側にいる人たちにも言う。『呪われた者ども、私から離れ去り、悪魔とその使いたちに用意してある永遠の火に入れ。<sup>42</sup>あなたがたは、私が飢えていたときに食べさせず、喉が渴いていたときに飲ませず、<sup>43</sup>よそ者であったときに宿を貸さず、裸のときに着せず、病気のとき、牢にいたときに、世話をしてくれなかったからだ。』<sup>44</sup>すると、彼らも答える。『主よ、いつ私たちは、あなたが飢えたり、渴いたり、よその人であったり、裸であったり、病気であったり、牢におられたりするのを見て、お仕え<sup>つか</sup>しなかったのでしょうか。』<sup>45</sup>そこで、王は答える。『よく言っておく。この最も小さな者の一人にしなかったのは、すなわち、私にしなかったのである。』<sup>46</sup>こうして、この人たちは永遠の懲らしめを受け、正しい人たちは永遠の命に入るであろう。』

(脚注 a：異本による。LXX では「私のきょうだいであるこの最も小さな者」)

## 《先週のメッセージより》2024年11月17日

「敵を愛せよとの神の言」より

牛田匡牧師

聖書 マタイによる福音書 5章 38-48節

今回のお話は、「悪人に手向かってはならない」(39)、「敵を愛しなさい」(44)とイエス様が言われたというお話でした。ですが、何かしらの暴力や抑圧を受けている人に対して、そのようなことを言っていたら、殺されてしまいかねません。イエス様は、どうしてそのようなことを言われたのでしょうか。「右の頬を打つ者には、左の頬をも向けなさい」(39)という言葉がありますが、こちらが右の頬を打たれる際、向かい合っている相手は左手で打っていることとなります。しかし、実際には右利きの方が多いので、左手の掌ではなく、右手の甲で打っていることとなります。これは相手を穢れた存在と見なして、掌ではなく手の甲で払うということですから、より一層侮辱した行為です。そのように自分を侮辱してくる相手に対して、こちらから更にもう一方の頬を向けるというのは、通常では考えつかない、突拍子もない反応でした。また布製品がとても高価なものであった当時、「借金のかたとして普段着を取ろうとする者に、上着をも与えなさい」というのも、相手に対して通常では考えつかない、突拍子もない反応に他なりませんでした。

これらが言っていることは、決して「黙って、従順に、されるがままにしておきなさい」という「無抵抗」ではなく、また「目には目を、歯には歯を」というように暴力で対抗することでもなく、むしろ「非暴力で不服従を徹底する」ということなのではないかと思えます。39節の「悪人に手向かってはならない」は、正しく訳すと「威圧者のように対峙するな」です。暴力に暴力で対抗した先には、滅びしかありません。また「非暴力無抵抗」でも、自分の心身が破壊され、殺されていくだけです。第三の手段として、尊厳を持って不服従すること、その先にこそ活路があるということなのではないでしょうか。

「敵を愛せよ」という神の言に従って、自分たちを傷つけて来る相手をも大切にすることというのは、とても出来そうにない難しいことです。ですが、全ての命が神様によって生かされているのですから、たとえ敵対する相手であっても、大切にすることが出来る道があるはずです。搾取と暴力、対立と破壊とは異なる、新しい道へと共に活路を見出して行くことが出来るように、私たちは日々、少しずつ成熟させられ変えられていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 1月 17日

礼拝出席 大人 4名 子ども 1名 献金 大人 3,000円 子ども 1,000円  
 中継視聴者数 12回 感謝

11月15日に天に召された さんの葬儀が、11月17日12時半から柏原市の「セレモニーホール花幸」にて行われました。ご遺族や関係者の皆様の上に、神様からの平安と慰めが豊かにありますように、祈ります。

◎ 次週 2024年12月1日(日) 待降節(アドベント) 第1主日礼拝

招きの詞 イザヤ書 2章 4-5節

聖書 マタイによる福音書 24章 6-44節

メッセージ 「目を覚ましていなさい」水谷憲牧師

賛美歌 21-242番(©JASRAC)、21-537番(©P.D.)、21-573番(©P.D.)

礼拝後に、12月期の「教会を考える会」を行う予定です。

◎ お知らせ

- ・本日、礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、いこい食堂にお届けする予定です。どなたでもご参加ください。献品も大歓迎です。
- ・12月7日(土)15時~16時にかけて、久宝まぶねこども園にて小学生対象のキッズクリスマスを開催します。スマイルパフォーマーQちゃんも来るよ。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・本日、17時~19時にかけて、八尾教会にて「沖縄と天皇制」についての公開講座が開催されます。主催は大阪教区「教会と天皇制」を考える特別委員会で、発題者は大澤星一牧師(西大和教会)です。事前申し込みは不要で、参加費も無料です。どなたでもご参加ください。ZOOMでのオンライン参加をご希望の場合は、事前に [uccj.osaka.2.11@gmail.com](mailto:uccj.osaka.2.11@gmail.com) までお申込みください。
- ・11月30日(土)10時半~12時にかけて東梅田教会にて2024年度防災講座「目を覚まして備えていますか?」が開催されます。講師は防災士の南部優子さんです。事前申し込みは不要で、参加費も無料です。ZOOMでのオンライン参加をご希望される場合は、教区事務所に申し込む必要がありますので、牛田牧師までご連絡ください。

連続講座第3回

# 「沖縄と天皇制」

発題者：大澤星一(西大和教会 牧師)

発題者プロフィール  
 2006年より西大和教会担任牧師、大阪教区「教会と天皇制」を考える特別委員会委員、教区常務委員、1999年から2006年まで神岡教区西原教会主任担任牧師、神岡教区時代は、教区書記や幹事の働きに専じた。

沖縄と天皇制はその時代の情勢や出来事において、いろいろな形で表出するが、常に沖縄はその根底で天皇制という構造的な負担を強いられている。それは社会的状況だけではなく、日本基督教団という枠組みの中においても。その私たちの罪深さとしてどう向き合うか、共に考えていきたい。

2024.11.24(日)  
 17:00~19:00 @日本キリスト教団八尾教会  
 〒581-0074 大阪府八尾市栄町1-5-8

参加方法：Zoomにて発題を配信いたします。参加される方は、「教会と天皇制」を考える特別委員会の山下社起委員長までメールにてお申し込みください。  
 アドレス：[uccj.osaka.2.11@gmail.com](mailto:uccj.osaka.2.11@gmail.com)  
 なお、大澤星一さんは八尾教会にて発題されますので、八尾教会にお越しいただくことも可能です。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
12/1	水谷憲牧師	(第1アドベント礼拝) ユウカリスト・教会を考える会
12/8	水谷憲牧師	(第2アドベント礼拝) (第二好意の庭クリスマス会)
12/15	牛田匡牧師	(第3アドベント礼拝)
12/22	牛田匡牧師	クリスマス礼拝・ユウカリスト

2024 日本基督教団 大阪教区  
**年度 防災講座**

講座『目を覚まして備えていますか?』  
 2024年11月30日(土) 10:30-12:00 (10:00 受付)  
 会場：日本基督教団 東梅田教会 大阪市北区野崎町9番6号  
 ※アクセスの詳細については、東梅田教会のホームページをご覧ください。

講師：南部優子さん  
 マラナ・タ教会 役員  
 株式会社至心舎 代表取締役  
 日本防災士機構 防災士

【主な講座内容】  
 ※座学とイメージトレーニングを組み合わせて実施予定  
 ・日本はどのくらい災害が起きやすいのか  
 ・災害が発生したら教会はどうなるのか  
 ・災害発生時、教会は何をすべきか  
 ・的確な災害対応を行うために何が必要か  
 ・災害発生時、教会は本当に動けるか

2024年は、元日の能登半島地震から始まり、8月には日向までの地震に備えられた南海トラフ地震臨時情報が初めて発表されるなど、地震などの災害のニュースが身近に近付いています。なかには、「〇日に巨大地震が起こる」とデマの予知情報で不安もあり、強みにくむお者もいます。  
 一つの世も、「正しく恐れる」ことがいかに大切で、かつ難しいことか。今回は、南海トラフ地震が実際に起きたらどのようなことが起きるのか、実際のところ何に気をつけておけばよいのかについて、政府のシミュレーションなどを紹介しながら整理し、簡単なワークショップと一緒に考えていきます。いつどこで何が起きても行動できるよ、目を覚まして備えておきましょう。

Zoomにて、防災講座に参加・出席されたい方は、必ず教区事務局までお申し込みください。大阪教区内の多くの方々の参加をのぞいております。  
 主催：日本基督教団 大阪教区 災害対策特別委員会